

2023年2月28日

2022年度 聖路加国際大学大学院看護学研究科
修士論文

新卒看護師の社会人基礎力・倫理的行動とリアリティショックとの関連

Relationship Between the Fundamental Work-Related Skills, Ethical
Behavior and Reality Shock of New Nurses

(21MN005)

岩永理奈

要旨

【目的】

新卒看護師のリアリティショックへの支援方法を検討するために、新卒看護師の社会人基礎力・倫理的行動とリアリティショックの関連を明らかにすることである。

【方法】

研究デザインは横断研究であり、層化無作為抽出した全国の病院で2022年4月に入職した新卒看護師を対象に、2022年7月1日から2022年8月15日の期間に無記名自己記入式質問紙を用いて実施した。測定用具は、「新人看護師のリアリティショック尺度」と「社会人基礎力尺度」、「倫理的行動尺度改訂版」を用いた。分析方法は、社会人基礎力、倫理的行動、新人看護師のリアリティショックのポジティブ因子とネガティブ因子を潜在変数として共分散構造分析を行い、モデルを作成し、適合度を検証した。

【結果】

調査票1295部を送付した結果、回収数250部(回収率19.3%)、有効回答数240名(有効回答率18.5%)だった。新型コロナウイルス感染症影響下の新卒看護師は、【患者・家族との関係】と【生活の変化】に対してリアリティショックを強く感じる傾向だった。また、社会人基礎力の中では【チームで働く力】、倫理的行動の中では【リスク回避】の得点が高い傾向を示した。そして、社会人基礎力が高いとリアリティショックのポジティブ因子が高くなりネガティブ因子は低くなること、倫理的行動は社会人基礎力を向上させる可能性を示唆した。また、倫理的行動はリアリティショックと直接関係は見られなかったが、社会人基礎力を介してポジティブ因子を高める可能性が示唆された。以上より、新卒看護師のリアリティショックへの支援方法として、新卒看護師への丁寧な指導と看護組織による働き方改革の推進、メンタルヘルス支援、看護基礎教育や臨地の場でPBLやTBLの活用、新卒看護師が経験する倫理的ジレンマを語り、新たな意味付けや前向きな経験として会得できる支援をすることが、新卒看護師へのリアリティショック軽減支援として有効であると推察した。

【結論】

新卒看護師のリアリティショックは、社会人基礎力との関係があり、倫理的行動とは直接的な関係は支持されなかった。つまり、新卒看護師の社会人基礎力が高いと、リアリティショックのポジティブ因子は高まり、ネガティブ因子は低くなる可能性がある。ただし、倫理的行動が促進すると社会人基礎力も高くなり、社会人基礎力を介してポジティブ因子を高める可能性が示唆された。